

「戦争やだね」

長野・中野

手作り 女性の集い

リレートークでは、乳飲み子を抱っこした若いお母さんが声を詰まらせながら「子どもたちのために平和を守りたい」と訴えました。高校生はギターを片手に「世界に一つだけの花」を歌い、戦争体験者の男性は「二度と戦争の愚拳を犯してはならない」と述べました。

長野県中野市の公園で22日、8人の女性がよびかけた「戦争やだねの女性のつどい」が開かれ、100人が集まりました。手づくりの初めてのつどいでは、神谷あり子さんの歌とトークに続き、絵本『へいわっていいね』の読み語りが行われました。

50代の参加者の「私たちの世代は平和の中で育ち、安心して生活することができた。この平和な日本を平和なまま次の世代に手渡すのが私たちの使命だ」との発言に、深い共感が広がりました。

憲法改悪阻止へ行動

金沢30日に県民大集会開催

金沢市で24日、県労働組合総連合、県平和運動センターなど8団体が記者会見し、「戦争法反対―憲法改悪阻止」の行動をよびかけ、「安倍政治を許さず、安保法制の廃案を求める石川県民大集会」の開催を発表しました。

県民大集会は30日午前11時から犀川河川敷（桜橋下流）で実施。集会後、パレードを計画しています。

会見で岩淵正明氏（九条の会石川ネット呼びかけ人）は、「全国100万人行動」の呼びかけに連帯して、石川県からも「安倍政治を許さない」「戦争法反対」の声をあげようと呼びかけました。

8団体は交代で、24日から9月21日まで金沢市内の繁華街で宣伝をつづけます。記者会見には、日本共産党の佐藤正幸県議も参加しました。